



社会医療法人近森会

発行

2014年4月25日

びろっば

5

Vol.334

www.chikamori.com ● 高知県高知市大川筋一丁目1-16 〒780-8522 tel. 088-822-5231 発行者 ● 近森正幸 / 事務局 ● 川添昇

近森病院

総合診療科が スタートしました。

近森病院救命救急センター
総合診療科部長 杉本 和彦



1月より総合診療科を開始することとなりました。当科では、全人的総合診療、地域医療支援、救急対応能力を有する総合診療医の育成を三つの柱とします。

外来診療では、専門が特定できずに紹介された患者さんや、紹介状を持たずに受診した患者さんの初期診療を行い、必要に応じて専門各科へ紹介を行うことを担当します。常に患者さんの視点に立って、じっくりお話を聞きながら診察し、治療を考慮していきます。身体面だけでなく、心理的、社会的側面にも配慮しつつ、必要に応じて専門

医や他職種と連携しながら（チーム医療）、治療のみならず、予防、リハビリ、介護、福祉まで視野に入れた全人的医療を実践できる診療科でありたいと考えています。地域の医療機関の診療と、当院での各科の専門的な知識や技術を連携させることの橋渡しができるよう努力いたします。

当院のERでは、「軽症から重症まで、多くの診療領域にまたがる、症状と疾患」が診られます。また当院内科では、一貫して総合内科医の意義を喚起され実践しています。この体制は、若手医師に救急対応能力を含めた多様な教育

を行うことができ、豊富な経験を積ませることで、総合診療医の専門性の一つである臨床推論を磨くには最適な環境だと感じています。

そして、総合診療医育成と地域への医師派遣により、地域医療支援を目指します。全国のへき地・離島の医師は非常に不足しています。地域基幹病院においても救急対応能力を有する総合診療医が必要とされています。地域との循環のなかで医師を育てながら、病院前から地域に戻るまで、あるいは地域に戻ってからも、急変時などでかかりつけ医を通じてその患者さんと関わり続ける、そんなシステムの構築を、この病院で模索していきたいと思っています。

総合診療科は絶対にこういうものだ、という確固たる定義は持たず、ニーズに応じて変化しうる柔軟な診療科でありたいと考えています。今後ともよろしく願います。

すぎもと かずひこ

その時 歴史が 動いた

その4. 日本の医療にリハビリが確立された瞬間

1979年（昭和54）10月、父が駅前分院（現管理棟第二別館）を開設したとき、すでにPT、OT、STの三職種のリハスタッフが働いていた。当時外科科長だった私は「リハビリのない救急病院は寝たきり製造病院になる」という確信をもっていたが、どうリハビリを機能させていけばいいかが分からなかった。

そこで虎ノ門病院分院から石川誠先生を招聘し、1986年（昭和61）6月にリハビリテーション科を開設することになった。それから程なくして石川先生から稟議書が提出された。内容は3階建サーモコン（現近森リハビリテーション病院）の場所にリハ病院を建てたいという内容であった。いつもならずぐにハンコを押す私も、月一千万から二千万の赤字は確実で、しかも当



近森 正幸

時の近森の財政規模を考えると、過剰投資でさすがに迷った。それでも一晩寝て翌朝にはハンコを押していた。

医療は建物ではなく、人がするもの。人がいて初めて建物がつくられる。石

川先生をみていてこの人は何かやる人だと思ったが、日本の医療まで変える「大医」とは思いもよらなかった。

駅前の分院でのトライアルに続いて、本館東側にプレハブのリハ病棟を建て、スタッフの訓練を行い、1989年（平成元）には近森リハビリテーション病院を開設した。スタッフが心一つにして必死に頑張ってくれたことや厚労省への働きかけもあって、4、5年で黒字化を実現、しばらくして回復期リハ病棟という診療報酬が創設された。当時、近森はまだ組織的に確立されておらずいわば暗黒大陸だった。それが逆に幸いしてリハビリを確立できたのではないかなと思う。

こうして急性期から回復期、維持期というリハシステムが構築され、日本の医療に新しい医療分野であるリハビリテーションが位置づけられた。

理事長・ちかもり まさゆき

コツコツ……

近森病院臨床栄養部
科長 佐藤 亮介



当部署では週一回、症例検討会を行っています。管理栄養士が持ち回りで自身が経験させていただいた症例を、栄養学の側面からその栄養治療・管理の是非を振り返るといったものです。診断、病態把握、治療経過の検討はもとより、資料作成、プレゼン能力の開発等、多角的にトレーニングが出来るため、当部署の重要な教育ツールのひとつとなっております。

NST 発足後、約 10 年間で 500 症例余りを検討した計算になりますが、コツコツと繰り返したその結果が昨年、二冊の本として発行されることとなりました。「近森栄養ケアマニュアル」と「近森栄養ケア Case Study」（監修：近森正幸、編集：宮澤靖）です。この

本館 A 棟免震装置

本館 A 棟には免震装置を設置、鉛プラグ入り積層ゴム支承 8 台と、回転機構付すべり支承 16 台の 2 種類。南海地震で想定されるマグニチュード 8.6 程度の揺れに耐えられる構造となっている。写真では積層ゴムに養生がなされているのが分かる。



▲ 16 台設置されている回転機構付すべり支承（手前）と 8 台設置された鉛プラグ入り積層ゴム支承（左奥）



▲ 左が鉛プラグ入り積層ゴム支承。右の壁が地面で建物全体が地面から浮いているのが分かる



ような教科書・マニュアル等は、栄養

子供の頃は川でよく遊んだ。泳いだり水に潜って「うなぎ」や「鮎」、「手長エビ」などを捕まえるのが楽しかった。なかでも鮎は動きも素早く、子供には捕まえるのが難しく、憧れの魚であった。そんな思いもあってか、20 数年前に鮎の友釣りを始めて最近では夏の休日には川に浸り、天然のクーラーのなかで釣りを楽しんでいる。

鮎の友釣りは日本独特の釣りである。鮎が縄張りを持つという習性を利用し、囮鮎に掛け針をつけ野鮎のテリトリーに送り込む。侵入者に怒った野鮎は囮鮎を追い払おうと突進し針掛りしてしまうといった仕組である。

当たりは実に強烈だ。水中がガラガラと光ったかと思うと、ガン!! という衝撃とともに掛かり鮎は川の流れて乗って川を下り竿を絞り込む。大きい鮎なら囮鮎をひっぱって川上にズンズン上って行く。20cm 足らずの鮎のど

私の流儀 1

鮎の友釣りを楽しみ、鮎に思いを寄せる



総合心療センター
センター長
みょうじん かずひろ
明神 和弘

ここにこんなパワーがあるのかと驚かされる。釣りを始めた頃このパワーに引き回され右往左往し、あげくの果てに逃げられたりして、見物人からよくやじられた。いまでは少しは上手に取り込めるようになった。野鮎は美しい。その

スマートな魚体、ピチピチした弾力、独特のスイカのおい、生命に溢れている。しかし秋になると、魚体は黒ずみ晩秋から初冬にかけ川を下り、産卵して死んでしまう。わずか 1 年の命でありはかなく哀れでもある。それが私たちの人生にも重なりつつい感傷的になってしまう。私も齢をとり、いつまでこの釣りが出来るかわからない。なにが起こっても不思議ではない年令となった。鮎の生きざまを見ながら、残りの人生を丁寧に精一杯生きていかなければと思いつつながら、秋風が吹き肌寒くなった頃に川に別れを告げる。

さとう りょうすけ

ここにこんなパワーがあるのかと驚かされる。釣りを始めた頃このパワーに引き回され右往左往し、あげくの果てに逃げられたりして、見物人からよくやじられた。いまでは少しは上手に取り込めるようになった。野鮎は美しい。その

スマートな魚体、ピチピチした弾力、独特のスイカのおい、生命に溢れている。しかし秋になると、魚体は黒ずみ晩秋から初冬にかけ川を下り、産卵して死んでしまう。わずか 1 年の命でありはかなく哀れでもある。それが私たちの人生にも重なりつつい感傷的になってしまう。私も齢をとり、いつまでこの釣りが出来るかわからない。なにが起こっても不思議ではない年令となった。鮎の生きざまを見ながら、残りの人生を丁寧に精一杯生きていかなければと思いつつながら、秋風が吹き肌寒くなった頃に川に別れを告げる。

ワイン講座 ● 22

ぶどう品種を知り、個性を探る 白ぶどうその②

ソーヴィニヨン・ブラン

これからの季節に一押し品種。フランスのボルドー地方やロワール地方を代表するぶどう品種。イタリア、カリフォルニア、チリ、南アフリカ等広く栽培されていますが、特にニュージーランドは品質が高く、ソーヴィニヨン・ブランの世界基準とまで言われています。

ソーヴィニヨン・ブランの一番の魅力は独特の香りと爽やかな酸味。産地によってさまざまな個性があり、ボルドー地方では伝統的にセミヨンとブレンドされ、メドック地区では辛口、ソーテルヌ地区では極甘口に仕上げられます。また、ロワール地方のサンセール地区やプイイ・フュメ地区では、香り高いしっかりした酸味のワインとなっています。

色合いは比較的淡く、香りの特徴として

サンセール/ヴァンサン・ゴードリー/フランス、ロワール地方●程よい果実感と引締ったミネラル感が心地よく、初夏から夏にかけて特にお薦めのワインです。

はレモン・ライムなどの柑橘系フルーツやピーチ、かりん、洋ナシなど青草、芝生、ハーブや緑の野菜等の香りが特徴的。

爽やかな酸味をもつソーヴィニヨン・ブラン種のワインは、ホワイト・アスパラガスや、スモークサーモンや、白身魚など魚料理全般と相性が良い。もちろん、お刺し身やお鮎などにもオールラウンドに楽しめます。



鬼田知明 (有限会社鬼田酒店代表)

腹腔鏡下(内視鏡下)胆のう 摘出手術について

近森病院副院長 北村 龍彦



右季肋部(右の肋骨の下のところ)に痛みや発熱が生じて、胆石症による胆石発作や胆のう炎の診断がつくと、胆のう摘出術が行われる場合があります。胆のうを摘出する手術は、以前は

お腹を大きく切開し、広い視野を確保して行うのが標準でした。しかし、医療・医学の進歩により、腹腔鏡を使って小さな傷で広い視野を確保し、専用の器具を利用して胆のうを摘出するという、画期的な手術が行われるようになってきました。

この手術手技が始まったのは日本では1990年から、欧米ではその少し前からです。近森病院外科に導入されたのは、保険適用に認められた1992年(平成4年)からです。導入にあつ

ては、他県での実技講習会を受講し、麻酔科医師の協力のもと、外科医や手術室のスタッフとともに動物実験を繰り返し、周到な準備を行いました。この年に事例をまとめて高知県の学術集会で報告されました。今ではこの術式が世界中で標準となり、安全にかつ侵襲も少なく入院期間も短いという患者さんにメリットが大きい手術として認められています。年々器具も改良され、より安全に、より傷が小さく術後の痛みも少ないように工夫されています。また、手術適応も急性期や炎症の強い症例にまで広がっています。

腹腔鏡を利用した手術は、胆のう摘出術に止まらず、各種のがん手術をはじめ幅広い分野に及んでいます。医療・医学の進歩は止まる事がないのは周知の事実です。医療者は患者さんのための医療を提供するにあたって、常に自己を鍛錬し、新しい知識や正しい情報を選別し、必要な技術の習得に努める使命があると考えています。

きたむら たつひこ

リレーエッセイ

ありがとう

近森リハビリテーション病院秘書課
川本 美衣



♪ありがとうっていったら みんなが笑ってる♪

大学を卒業して知り合った、ママ友であり、元同期。彼女がご主人の仕事の関係で、この4月に中国・上海へ、ご家族で赴任しました。男の子2人を毎日奮闘しながら育てている彼女。彼女とよく話しながら、歌っていた♪ありがとうの花♪。特に、冒頭のフレーズが大好きです。

先日、この歌を、子どもとテレビで見たときに、思いました。(彼女も、4月からこの新生活、頑張っているだろうな。上海は未経験の地。彼女のことだから、家族の土台となって、また奮闘しているだろう。)

彼女と離れ、お互い新たな環境でそれぞれの生活をスタート。私も、近森会に再就職して、6月で丸1年。あたたかく受け入れてくださった周りの方々、家族、友人のおかげで勤めることができています。毎日、子育て、家事、仕事に追われますが、同じ環境、それ以上に頑張っている方をたくさん目にします。

私も刺激を受けながら、自分のものに、いくつになっても成長し続けたいと思うこの頃です。そんなとき、忘れないようにしたいです。「ありがとう」の気持ち。そして素直に「ありがとう」と言えること。この歌と共に。 かわもと みえ

和田事務長の 田舎から その2 山菜の芽吹きをいただく

近森病院総合心療センター
事務長 和田 廣政

竹の子を掘る筆者

春は山菜の季節です。里山の芽吹きをいただくため、休日は朝から大忙しです。裏山に生える竹の子を朝早く掘り起し、すぐに米糠で煮るとあくがなく美味しくいただけます。竹の子には黄子と黒子があり、黄子は先が黄色で10本に1本ほどしかなく、地面からあまり出でなくてずんぐりと太い竹の子が柔らかくて美味しく珍重されます。

味付けはこの季節にあがるカツオのあらをダシに使うのが我が家流で皮付きのカツオの刺身があれば完璧です。

また、谷川や石垣に生える「たきな」はサツと湯がいて味噌和えにすると緑色が鮮やかでシャキシャキした食感が楽しめる一品に

たきなの味噌和え
今回は刺身用のブリを加えました



なります。炒めてもおいしくいただけます。イタドリ、ゼンマイ、タラの芽、ワラビ、フキ、ウドとしばらくは家周辺で里山の味が楽しめます。 わだ ひろまさ



たきなは一般にうるい、山カンピョウとも。オオバギボウシは正式名。若葉のころが食べごろ



これが黄子。黒子よりあくが少なく断然旨い

高知中央医療圏脳卒中地域連携の会合同会合



◀講師の平野メディカルオフィス 平野由実先生

3月16日、管理棟3階にて上記会合を開催、170名の参加者は多職種にわたりました。前半では高知医療センターから近森リハビリテーション病院を経て自宅退院し、吉村神経内科リハビリクリニックで外来通院という多施設連携患者さんの急性期から維持期までの経過を検討しました。在宅に帰ってさ

ワッペン、バッジ、 広報誌あれこれ 3

近森会健康保険組合広報誌



「はつらつ」

近森会健康保険組合事務局長 田村 裕彦



「はつらつ」は年に2~3回発行しています。ひろっぱ同様、川添常務に名付けてもらいました。内容は組合業務の紹介から年度予算・収支、保健事業(がん検診・被扶養者の特定健診の案内、健康づくり教室やスポーツジム利用補助の案内、契約保養所利用補助の案内、育児雑誌の配布、メンタルヘルス相談やウォーキングイベントの案内)など、被保険者の健康維持、増進に直結したものが多く掲載され、皆さんから徴収した保険料が医療機関に支払われる仕組みや自動車事故に遭ったとき、限度額認定申請、柔道整復師へのかかり方、被扶養者認定の条件など、公的な手続きや知っていれば得るものが10頁ほどに集約されています。硬い内容だけに見た目をソフトな仕上げにしています。皆さんにぜひ一読いただき、お役に立てていただければと思います。

介護者との連携を

高知中央医療圏脳卒中地域連携の会事務局

近森病院脳神経外科部長 高橋 潔



らに症状改善する患者さんも多くいますが、在宅でも多職種による連携の大事さを改めて認識しました。

後半は平野メディカルオフィスの平野由実先生に今年4月からの診療報酬改定と脳卒中連携について今後の医療

の方向を含め講演をしていただきました。今後医療と介護の連携がますます重要になりますが、こうした会を通して普段から介護の方との連携を深めたいと思います。

たかはし きよし

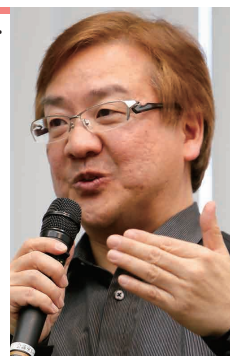
近森病院 mini 公開県民講座

▶ウィメンズクリニック・かみむらの上村茂仁院長

10代から知っておく 性、デートDV、LINE について



近森病院看護部長 吉永 富美



「女性のかかりつけのお医者さん」ウィメンズクリニック・かみむらの院長上村茂仁先生にお越しいただいて、講演会を開催しました。

上村先生は、小学生から老年期までの女性のライフワークのアドバイザーとして診療を行う傍ら、休日を利用して年間約80回の全国での性教育講演や・デートDV防止教育活動などを行っています。

講演は、先生に子供たちから毎日相談のある、身体のこと(生殖器など)や異性間の交わりのことなどについ

て、今の若い子供たちが何を考え、悩んでいるか、またその時にどんな言葉をかけていたらよいかなどを、先生のご独特のユーモアを交えた語りで伝えていただきました。

10代の方の参加は少なかったものの、思春期の子供たちの親である私たちにはたいへん興味深いものでした。子供たちからは1日100件以上の相談が寄せられるとのこと、先生の活動の必要性を感じると共に、親や指導者である私たちが子供たちを理解する必要性を感じました。 よしなが ふみ

お弁当拝見 25 男飯



近森病院理学療法科主任 田中 健太郎



ダイエット中とすることでPHSと比べてその小ささが分かる。七分搦きご飯

私の弁当は無骨な大味のガッツリ系男飯ではなく、極力質素で健康的に調理するよう心がけたものです。自宅とはいえ冷蔵庫の中身を好き勝手に使用することはできませんので、副食は前日の残り物や余り物で簡単に調理します。

満腹になると昼からの仕事効率が著しく低下するため、腹八分を常に心がけてもいます。おかげで数年前から始めた体重コントロールも大きな変動も無く現在に至っています。

リハビリテーションに従事する者として自立・自律して生活することが責務であり、いずれ自分の血となり肉となる食材は、自



ら選択、調理して体内に入れるべきだと涙ながらに自分自身にいい聞かせ、子育てに忙しい妻と子供たちを起こさないよう、毎朝そっと布団を抜け出しつくる「男飯」なのでした。 たなか けんたろう

乞！熱烈応援

一歩ずつ自分のペースで

近森病院 SCU 看護師主任
岡村 瑠美



ICU・CCU・SCU と急性期看護に携わり、そのなかで脳神経看護に興味を持つようになり看護師 11 年目になりました。病院のサポートもあり、今年脳卒中リハビリテーション看護認定看護師教育課程を修了することが出来ました。5 月の認定審査をクリアすれば認定看護師となります。日々行なっている看護をアセスメントし、患者さんに合った看護が出来るよう、まずは病棟で質の高い看護を提供し、患者さんに満足してもらえるような関わりをしていきます。師長、主任をはじめ、スタッフ全体で SCU 病棟を盛り上げていきたいと思います。未熟者ですのでご指導をいただきながら成長出来るよう頑張ります。 おかむら るみ

新たな気持ちで

近森病院薬剤部主任
薬剤師 明神 有希



4 月 1 日付で主任心得の辞令を受け、新たな気持ちで今年度をスタートしました。ここまで成長できたのは先生方をはじめ、多職種の方たちにたくさんのことを教えていただいたからです。今は DI 担当としての業務が中心です。DI とは Drug Information (医薬品情報) を意味します。これまで病棟で得た知識を最大限活用しながら、情報収集や管理を行い、よりよい情報提供をしていきたいです。「努力なしに成長なし」をモットーに…「支えなくて成長なし」を忘れずに、薬剤部全体が同じ方向を向いて成長していけるよう邁進していきたいと思います。 みょうじん ゆき

看護の質向上をめざして

近森病院集中治療部
シニア看護師長 工藤 淑恵



異動となる西本シニア看護師長の後を継いで、辞令をいただきました。今年度集中治療部は、A 棟の完成で高機能病棟が 18 床増、SCU も増床となります。また、看護師数も大幅に増員となる予定です。

たいへんな時期ではありますが、各病棟の師長、主任、認定看護師、スタッフと共に、クリティカルな患者さんご家族をいちばん近くで支えていくことのできる看護を提供できるよう取り組んでまいります。

現場を大切に一人ひとりのナースが看護のやりがいを実感できる職場をつくることも目標です。目標は大きく！ ポジティブに！

くどう よしえ

若いスタッフと共に成長を

近森病院薬剤部主任
薬剤師 今西 清子



今回主任のお話をいただいたとき、最初は驚きと不安な気持ちでしたが、自分なりにいろいろと考えた末に「よしっ！やってみよう!!」という気持ちになりました。日頃から私は「気が利く人になりたい」と思って来ました。何事も前向きに進むと思えるからです。薬剤部は若いスタッフが多く、多忙になると余裕がなくなり、自分しか見えなくなってしまうがちです。そんな時、この言葉を思い出してもらいたいと思います。これからは、未熟な私ではありますが、若いスタッフと共に日々、成長して行きたいと思います。

いまにし きよこ

自分のことは自分で

訪問看護ステーションラポール
所長 田口 喜子



「精神科訪問看護は何をしているのか」という問いに、明快にお答えするのは難しいものです。目に見えないからです。訪問看護利用者の方々の変化成長を拝見し、前所長始めスタッフ皆で辿り着いた一つの答えは「セルフマネジメント力を高めることを支援している」でした。自分のことを自分で考えて決めて行動できるようになるように、専門的知識を踏まえ、心から応援し、時にはあえて手を出さず、じっくりかわります。これまでラポールを築き上げて来られた職員、利用者の方々に思いを馳せながら、目の前の利用者、スタッフ各々が、持てる強みを最大限発揮できるようなステーションを目指し、行きつ戻りつ前進して参ります。 たぐち ゆきこ

夢への第一歩

近森病院総合心療センター
臨床栄養部主任 川崎 麻由



就職 10 年目になります。仕事を続けてこれたのは、意欲あふれる多くの仲間にもうめ刺戟をもらい、優しく支えていただいたからです。近森会で働く仲間が大好きです。患者さんを支える仲間が元気で働けるため、仲間の声を聴き、想いを受け止め、力になれるよう成長していきたいと思います。疲れた時にほっとできる鮎玉のような存在になることを目標とし、grade up を目指していきます。そうして恩を還元していくことが「もっと素敵な部署、もっと素敵な病院にしたい」という私の夢に近づく第一歩だと思うのです。 かわさき まゆ

恩返しをしたい

初期研修医 (消化器内科) 井上 薪

とても楽しく充実した日々でした。素晴らしい上司、同期や後輩、スタッフの方々と巡り合えたことは自慢です。社会人として、医師として何もできない私を成長させてもらいました。近森病院に恩返しをしたいという気持ちが強く、早い時期から後期研修先を当院に決めていました。まだまだ知識不足、技術不足で迷惑をかけることも多いと思いますが、背伸びせず、少しずつ還元していきたいです。 いのうえ しん



知らないことに気づかされ

初期研修医 (心臓血管外科) 衣笠 由祐

光陰矢のごとし、2年間を思い返し真っ先に出てきた言葉です。右も左も分からないまま病棟へと飛び込んだ一昨年、「3本回し」「抜針帰宅」「ハルン」等の言葉に悩んだ日々を思い出します。知識も増えましたが、それ以上に知らないことの多さにも気づかされました。今後は学んだ土台を基に常に前を向いて頑張っていきます。先生方、全コ・メディカルスタッフの方々にはほんとうにお世話になりました。 きぬがさ ゆうすけ



学んだことを糧にして

初期研修医 (循環器内科) 楠目 宝大



近森病院での2年間、たいへんお世話になりました。熱心なご指導を賜りました先生方、困っているときに手を差し伸べてくれる病棟スタッフの方々がたくさんいてくださったからこそ、無事に研修を終えることができました。学んだことを糧にして、今後の長い医師人生に生かしていきたいと思えます。近森病院での研修は一生忘れません。ありがとうございました。 くすめ たかひろ

くすめ たかひろ

平成25年度 初期研修医修

プログラム責任者 外科部長

八木 健



近森病院初期研修修了式直前に行われた研修管理委員会での修了判定で10名の研修医全員が合格し、無事修了することができました。今年からの新企画で指導者が選ぶ「ベスト研修医賞」および研修医が選ぶ「優秀指導医賞」が発表され、僅かな差で、ベスト研修医に衣笠由祐先生、優秀指導医に呼吸器内科の荒川悠先生、外科の辻井茂宏先生が選ばれました。4月から後期研修医として当院を始め県内外の病院での仕事が始まります。輝く未来に向かってスタートにふさわしい素晴らしい式となりました。 やぎ けん



もっとできることが

初期研修医 雲井 美帆



近森病院は研修医を温かく見守り育ててくれる雰囲気があり、先生方やスタッフの方々だけでなく、患者さんからも教えていただきました。診断や治療、患者さんへの説明の仕方、言葉のかけ方など、もっとできることがあったのではと考えることも多かったです。今後そのようなときによりよい対応ができるよう精進していきたいと思えます。ほんとうにありがとうございました。 くもい みほ

くもい みほ

感謝

初期研修医 古曾部 和彦



24年間いた関西を出て始めた近森での初期研修も修了。先生方、たくさんのコ・メディカルの方々のおかげで、充実した研修を送ることができました。素晴らしい同期にも会え、ほんとうに良かったです。今後は近森病院を離れますが、身に付けた知識や技術を存分に発揮して、精進していきたいと思えます。いつの日か近森病院で会えることを信じて。2年間ありがとうございました。こそべ かずひこ

こそべ かずひこ

了式

肩書の()は4月以降
の近森病院での部署



医学の広大さと自分の無力さを

初期研修医 (神経内科) 佐島 和晃



数カ月ごとに職場が変わる環境でさまざまな方と接することで、自分と異なる世界観、人生観に数多く触れることができました。最初のころは右も左も…。徐々に慣れ今は後輩の指導に」となるとばかり思っていたのですが、むしろ最初よりも医学の広大さと自分の無力さを強く感じています。2年間の経験を生かし、近森病院への貢献の在り方を模索していきたい。

さじま かずあき

▼修了研修医からのサプライズ企画で、1年目の研修医に出来たての「近森病院研修医マニュアル第3版」が贈られました

近森パワーで挑戦し成長

初期研修医 重清 知子



熱心に指導して下さった先生方、研修を支えて下さったコ・メディカルスタッフの皆さま、ほんとうにお世話になりました。2年間もっとも成長できたことは、医師としての目標ができ、向上心を持って頑張れるようになったことです。近森病院でスタートできたことを誇りに、今後も近森パワーで色々なことに挑戦し成長します。みなさん、ほんとうにありがとうございました。

しげきよ ともこ

高知でのいままで、そしてこれから

初期研修医 (循環器内科) 菅根 裕紀



高知に来て8年が経ちます。日本史好きな自分が、歴史的英雄を多数輩出している高知県が中四国でいちばん発展しているに違いないと思い込んで、高知大学を受験してからそんなに月日が流れました。なにか間違ってますが、いつの間にか高知に馴染んで、この春から後期研修が始まります。循環器内科として、まだまだ未熟そのものですが引き続きよろしくお願いたします。

すがね ひろき



恩返しができるよう

初期研修医 滝内 るりこ

ほんとうに大きな2年間でした。今後は東京ベイ・浦安市川医療センター内科で後期研修を行います。ほんとうに「ありがとう」、いちばん伝えたいのはこの気持ちです。近森病院を離れても、出会ったひと、数々の経験や想いは、今後の医者人生の支えとなる大切なものです。いつかどんな形でも恩返しできるよう、頑張ります。It always seems impossible until it's done.

2年間ありがとうございました!

たきうち るりこ



「近森育ち」の医師として

初期研修医 宮本 由賀

あっという間の2年間、指導医の先生方、先輩、同期、後輩、コ・メディカルの皆さんのおかげで、現在ここにいることができます。4月からは神経内科医として新たな一歩を踏み出すこととなりました。「近森育ち」の医師として、専門医である前に内科医であることを肝に銘じ、懸命に歩いていきたいと思えます。たくさんの愛情をありがとうございました。大好きな皆さんの、近森病院のhappyをこころから願っています。

みやもと ゆか



一年目を終えて

初期研修医 寺西 裕器

高知大学との「たすきがけ」で1年間だけの研修でしたが、たくさんの方にお世話になりました。上級医の先生方には、忙しいなか熱心にご指導いただき、直接は関わりがなかった先生も色々心配して声をかけて下さいました。コ・メディカルの方々にも優しく教えていただきました。やっと慣れてきたころに病院を移るのはとても寂しいですが、3年目からまたお世話になるかもしれませんのでよろしくお願いたします。

てらにし ゆうき





たかた なおき 整形外科医師 ▶ 広島県 ▶ 岡山大学医学部 ▶ 趣味は旅行ですが、まずは仕事を充実させたいと思います。

高田 直樹



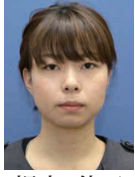
こたに としあき 循環器内科医師 ▶ 高知県 ▶ 高知大学医学部 ▶ 幡多けんみん病院での勤務を終え、一年ぶりに近森病院に戻ってきました。

古谷 敏昭



ふるかわ だいすけ 循環器内科医師 ▶ 愛媛県 ▶ 筑波大学 ▶ 一年間東京で勉強してきました。最近ダイビングのライセンスを取得したので機会があればもうりに行きましょう

古川 大祐



ねもと よしこ 循環器内科医師 ▶ 茨城県 ▶ 北里大学医学部 ▶ 大学時代はバスケットをしていました。バスケット好きの方でしたら、声をかけてください！ バスケしましょう！

根本 佳子



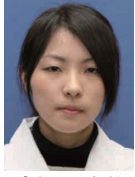
のうしよう ひろき 麻酔科医師 ▶ 兵庫県 ▶ 琉球大学 ▶ 小中はサッカー、大学で野球、最近ゴルフを始めました。真っ直ぐに飛びませんが、諦めずにコツコツやっています。

納庄 弘基



おおぎ けんた 放射線科医師 ▶ 高知市 ▶ 高知大学医学部 ▶ 温泉旅行をしに全国を放浪したり、カフェでバイトしたり、ライブではしゃいだりと、ぼちぼち楽しんでます。

仰木 健太



いわがわ ちえ 精神科医師 ▶ 総合心療センター精神科医師 ▶ 高知県 ▶ 高知大学医学部 ▶ 最近はゆるキャラにはまっています。イチオシがあれば教えてください。

岩河 千栄



こんの ゆうこ 神経内科後期研修医 ▶ 宮城県仙台市 ▶ 筑波大学 ▶ 仙台出身、大学は茨城でしたが、縁あって初期研修から高知で働かせてもらっています。マイペースで日々精進したいと思います。

今野 優子



かわぐち じゅり 初期研修医 ▶ 高知市 ▶ 高知大学医学部 ▶ 学生時代はバレーボール部に所属していました。上手くなりたくて、毎日必死に練習していました。最近の趣味はスクラップブックです。

川口 樹里



にしもと しょうた 初期研修医 ▶ 高知市 ▶ 高知大学医学部 ▶ 昨年度は高知大学医学部附属病院で働き、今年から近森病院での研修となりました。馬車馬のように働きたいと思います。

西本 祥大



初期研修医

● 前列左から **川真田 純** かわまた じゅん ▶ 初期研修医 ▶ 徳島県吉野川市 ▶ 徳島大学 ▶ 徳島からやって参りました。早く高知の文化に馴染めるようがんばります。下手くそですが野球が大好きです。
藤原 麻美 ふじわら あさみ ▶ 初期研修医 ▶ 高知市 ▶ 宮崎大学 ▶ 大学ではポートと和太鼓に打ち込んできました。6年振りの高知なので、高知の美味しい物をたくさん食べられるのが楽しみです。
田島 萌夢 たしま もゆ ▶ 初期研修医 ▶ 高知市 ▶ 高知大学医学部医学科 ▶ 趣味は旅行、写真、アウトドア（海・キャンプ）、よさこい、DIY、マンガ、手芸全般、料理 etc です。少しでもかぶってることがあったら語り合いたいです！
岸本 達真 きしも とつた ▶ 初期研修医 ▶ 岡山県津山市 ▶ 高知大学 ▶ 中学、高校ではテニスを、大学ではバドミントンをしていました。身体を動かすのが好きなの

で、ラフティングやダイビングも挑戦したいです。
 ● 後列左から **芝 太郎** しば たろう ▶ 初期研修医 ▶ 高知県 ▶ 高知大学 ▶ バスケと旅行が好きなの 25 才です。よく大きくて怖いといわれますが、中身は怖くないので、気軽に話しかけて下さい。
谷岡 信寿 たにおか のぶひさ ▶ 初期研修医 ▶ 宿毛市小築筑町栄喜 ▶ 高知大学 ▶ 長い間テニスを通して心体を鍛えてきました。こんな見た目ですが、時にはマカロンを焼いたりという繊細さも持ち合わせています。
福島 大 ふくしま だい ▶ 初期研修医 ▶ 高知市 ▶ 高知大学 ▶ 高知に住み続けること 25 年、高知に対する愛情には自信があります。高知の医療をより盛り上げていきたいと思っています！
矢野 慶太郎 やの けいたろう ▶ 初期研修医 ▶ 高知市 ▶ 昭和大学 ▶ 高知学芸でソフトボールを 6 年間、大学で野球を 6 年間

2014 新人を迎えて



やってきて、今でも野球好きです。今後はゴルフも上手になりたいです。

山崎 勇輝 やまさき ゆうき ▶ 初期研修医 ▶ 南国市 ▶ 高知大学医学部 ▶ 学生時代はダンス部に所属し、楽しい生活を送りました。今後も仕事、私生活ともに楽しい人生を送りたいと思います。

高知ハビリテーリングセンター お花見会

4月5日、芝生の庭でハビリ恒例のお花見会が盛大に行われました。



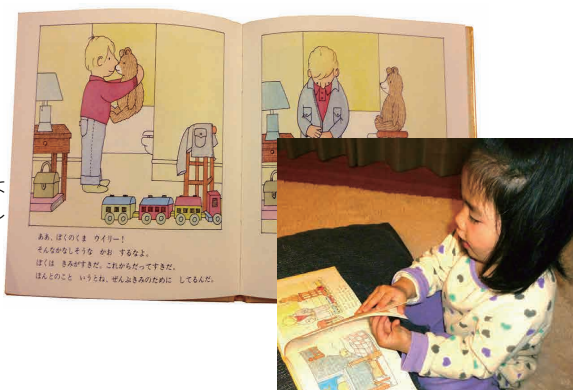
● お知らせ 医療従事者対象 ●

- 第133回地域医療講演会
日時：5月13日(火) 18:00～19:30
会場：管理棟3階会議室
「英国の保健医療制度における
家庭医の役割 ～人に寄り添い、
地域で支えるプライマリ・ケアとは～」
講師：英国家庭医療専門医 澤憲明先生
「英国における家庭医療研修と
家庭医としてのキャリア」
講師：Membership Royal College of
General Practitioners Patrick Hutt 先生
- 第134回地域医療講演会
日時：6月6日(金) 18:00～19:30
会場：管理棟3階会議室
「緊急度判定支援システム JTAS と
院内トリアージ：最新動向」
講師：富山大学大学院医学薬学研究部
危機管理医学講座教授 奥寺敬先生

近森会
保育室

そると 卒園式

▶卒園式にあたって、あしながおじさんから絵本が届きました。ありがとうございました。



今年も13名の、ちかもりっ子たちが卒園式を迎えました。



「そると」が1.5倍に拡張されました。詳しくは6月号でご紹介します。

▶ 外来診察中のひとこま

シンプルイズベストな日々

いかにも宇宙人的なスケール

ひとりであるのが好きとか、仕事にだけ集中している！とか、「そんな風にいける歳ではなくなった」と笑う坪井科長の毎日は、「シンプルイズベスト」と表現できそう。何ごとにつけ、ゴチャゴチャしているのは性に合わない。引越し荷物をケース二つにまとめる話は象徴的だが、それに何の不自由も感じず、目の前の仕事に全力投球できているところが、いかにも宇宙人的なスケールを感じさせる。

外科医としては、手術の手技を活かすべき最適のタイミングを逸しないことが最優先だが、だからといってすぐ手術ではなく、あくまで「患者さんの生活在りき！」を考え、あらゆる背景を慎重に考慮すべきだと、常に自身に言い聞かせているのだという。手術は最終手段だが、手術せず治せるならそれがいちばんだから、診療料を超えて患者さんの背景を勘案して、なにが最良の方法かを探し続ける途上にいる。

夜中に緊急手術で呼び出されることも、土日に出勤することもある。呼び出しに備えてお酒は控えるし、何泊もの旅行はしない。生活の基盤となっているものが仕事で、近森病院での勤務医としての自分があるわけだから、この生活が不自由だとか、窮屈だとかは感じようがない。「シンプルイズベスト」な日々が淡々と流れている。

諸先輩に助けていただいています

医学部の受験を考えたのは都立高校三年の秋で、それまでは物理や数学のさっぱり割り切れる現象が気に入っており、その方面に進むつもりだった。それが病理に進む同級生の話に興味深く聞いたことで医学部志望に変え、それが出発点になったとでもいうのか、「消化器」との関わりが続き、医学博士取得の論文も、臨床医となってからの専門もずっと「消化器」に関係してきた。

北村龍彦副院長をはじめ、群馬大学同門の先生方には仕事の専門領域を超えて、「いろいろ気を遣っていただき、何とかやれています」という部分が大きいのだそう。

「これって、副院長の心遣いなんだろうな…」とか、諸先輩方の押しつけがましきない細やかさに支えられて、高知での单身生活も「うんと若かったとき」の1年を足して、やがて10年になる。

小さい身体に鋼の精神

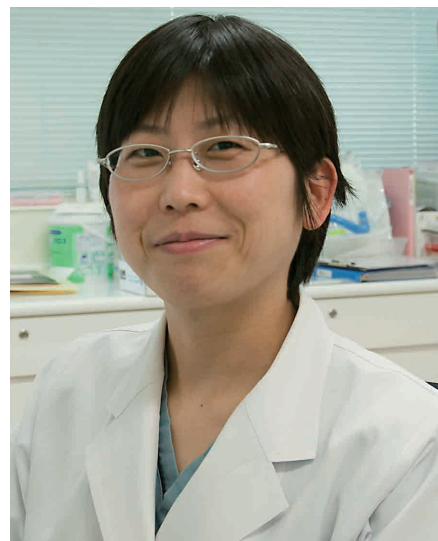
農業経済学が専門の父親と専業主婦の母親は、海外での暮らしが長く、東京世田谷の実家に帰る回数が何となく減り、そんな家庭環境も坪井先生の「生活臭を感じさせない」シンプルさに、いつの間にかつながったのかも知れない。

それでも両親が高知に遊びにくると、冷蔵庫は食品で溢れ、母親は娘のために食べ物を嬉々として準備してくれるそうで、ときどき、そんな家庭の味を思いだしつつ、シンプルイズベストの日常に満たされて、外科医のキャリアを積んでいる。

小説も読むし、音楽も聴く。趣味といえば、昔は水泳で、いまは車が気に入っている。時間ができるとドライブに出て、あるいは遠くまで歩き、またスッキリして、仕事に特化したような日常に戻る。

フードファイター的によく食べるといのがスタッフの見方だが、「若い頃に比べると量は随分減ったし、この子はよく食べ、よく呑むとってくださる先輩の先生の期待を裏切ってはいけない！と張り切った部分もあるんです(笑)」と、これは食欲旺盛だった頃への懐かしさをこめた言い訳のようでもある(笑)。

常に全力投球できるようしっかり食べてハラに力を込める。そんな坪井科長の気概は患者さんやご家族に、「小さい身体に鋼の精神」の頼れる外科医と映っているようだ。



▼外で夕食を済ませるときは、気に入りのお店のおかみさんのおふくろの味に癒されている。坪井科長は癒され名人。だから、仕事上のピンチも、こんな風にときを過ごして一晩休めば、翌日は元気なポーカフェイスに戻れるのだ。これが特技でもある。鋼の精神の持ち主！



5月の歳時記 カスミソウ

近森オールソリハビリテーション病院

外来看護師 岡本 美穂



カスミソウは花束では他の花の引き立て役のようですが、実はベビーブレス(赤ちゃんの吐息)というすてきな英名が付いていて、精神を安定させ不眠症に効果があるといわれています。可憐なこの花にぴったりな名ですね。私もカスミソウのように周りをそっと癒してあげられる可憐な存在でありたい。

おかもと みほ



絵・総務課
広報担当
公文幸子

編集室通信

「休日は何してるの? 趣味は?」という会話、多いですね。私は「休日はBOOKOFFとTSUTAYAでできている」と答えています。古本を買ったり、DVDをレンタルしたり。マイカー非所有者にはちょっと辛い距離ですが、運動不足解消と出不精打破のための試練と思い、自転車をこぐ日々です。(須)

図書室便り (2014年3月受入分)

●恋する心エコー: 心機能は4つの線で理解できるメルクマール編/福田大和(他著)

《別冊・増刊号》

- 別冊 医学のあゆみトランスポーターと疾患研究の最前線/楠原祥之(編)
- 臨床栄養 別冊 NCM シリーズ9 小児の臨床栄養エビデンスとトピックス/雨海照祥(編)

2014年3月の診療数 システム管理室

近森会グループ

外来患者数	17,398人
新入院患者数	804人
退院患者数	804人

近森病院(急性期)

平均在院日数	14.09日
地域医療支援病院紹介率	96.41%
救急車搬入件数	433件
うち入院件数	235件
手術件数	381件
うち手術室実施	268件
→うち全身麻酔件数	157件

●平成26年3月 県外出張件数 件数81件延べ人数163人 ●